

No.46 鎖国下の対外政策	年 組
	氏名

/9 問
------

次の ( ) に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

1 17世紀半ばの中国では、国内の反乱によって明がほろび、  
(① ) が中国全土を支配した。

2 江戸幕府は、貿易によって金や銀が大量に流出することを制限し、かわりに銅や海産物である (② ) を輸出するようになった。

3 江戸幕府は、オランダ人に、ヨーロッパやアジアの情勢を報告するように義務づけ、(③ ) を提出させた。

4 江戸幕府の成立後、(④ ) 藩 (長崎県) の努力で、日本と朝鮮との間の国交が回復した。

5 将軍の代わりごとなどに、これを祝うために朝鮮から派遣された右の図で示される使節を (⑤ ) という。



6 それまで独立国だった琉球王国 (沖縄県) は、(⑥ ) 藩 (鹿児島県) に攻められて服属した。

7 蝦夷地 (北海道) には、(⑦ ) 民族が住んでいたが、蝦夷地の南部に領地を持つ (⑧ ) 藩は、幕府から (⑦) の人々との交易の独占を許され、大きな利益を得た。

8 (⑦) の人々は、17世紀後半に、首長である (⑨ ) を中心に (⑧) 藩と戦いを起こしたが、敗れた。



(⑨)

江戸幕府は鎖国のもとで、どのような外交政策を行っていたのか整理しよう。



【解答】

- ① 清
- ② 俵物
- ③ オランダ風説書
- ④ 対馬
- ⑤ 朝鮮通信使
- ⑥ 薩摩
- ⑦ アイヌ
- ⑧ 松前
- ⑨ シヤクシャイン